

プチ贅沢・スイーツ需要捉え、ヤマザキパンは7期連続売上伸長。不二家も好調に推移

	上半期	下半期	通期
連結売上高（前期比）	716億円（104.1%）	733億円（103.1%）	1,449億円（103.6%）
単体売上高（前期比）	561億円（103.4%）	545億円（98.2%）	1,106億円（100.7%）

・ヤマザキパン本体の洋菓子は前期に大きく伸ばした売上を更に上回り、7期連続、売上伸長。主力の「2個入ケーキ」や「プレミアムスイーツ」等が順調。不二家の洋菓子も好調に推移。

チルドケーキ（453億円、101.3%）

- ・主力「2個入ケーキ」等が順調、前期ハードルが高い中、売上伸長。
- ・今期も女性の製品開発体制を継続強化。高品質高付加価値製品に加え、中間・低価格帯製品の充実も図り、売上アップを図る。

シュークリーム（157億円、101.6%）

- ・生地仕込み工程を見直すとともに、新規技術でオープン内の温度・湿度を安定化。シューパフの品質が格段に向上し、主力の「大きなシュー」シリーズが伸長。

スイスロール（172億円、97.7%）

- ・昨年3月に品質向上した「生クリームロール」等の「プレミアムスイーツ」は順調も、主力の「5つに切ったロールケーキ」が苦戦。

スナックケーキ（161億円、100.5%）

- ・コンビニエンス向けの「マリトッツォ」の売上が大きく寄与。

■チルドケーキ



■スナックケーキ



■スイスロール



■シュークリーム



（イチゴスペシャル）

女性の製品開発担当者による市場ニーズを捉えた高付加価値製品の開発に加え、価格帯に隙の無い製品展開で売上拡大図る